

会議録

- | | | |
|---|----------|---|
| 1 | 会議の名称 | 令和3年度第2回熊取町子ども読書活動推進連絡協議会 |
| 2 | 開催日時 | 令和3年9月17日（金） 13時30分～15時 |
| 3 | 開催場所 | 熊取町立熊取図書館2階ホール |
| 4 | 議題 | 案件1. 熊取町第4次子ども読書活動推進計画（たたき台）への修正等について

案件2. 今後のスケジュールについて |
| 5 | 公開・非公開の別 | 全部公開 |
| 6 | 傍聴者数 | 0人 |

7 審議会等の概要

●案件1 熊取町第4次子ども読書活動推進計画（たたき台）への修正等について

【事務局からの説明】

- ・第1回目子ども読書活動推進連絡協議会会議終了後に開催した会議や聞き取りからたたき台へのご意見や修正した点について説明を行った。特に大きく追加、変更した点は、絵本の普遍的な存在意義についての明記が必要ではというご意見に対し、「第2章2. 乳幼児・幼児期における本に親しむ機会の定義」や「第3章2. 実施計画」のNo. 15の絵本の紹介の中に文章を追加した。SDGsについて計画の中での方向性を示して欲しいというご意見に対し、「第1章1. 子どもの読書活動を推進する意義」と「第3章1. 基本方針」の中に盛り込んだ。

【委員からの主な意見等】

- ・保育所などの保護者向けに新しく入った本の情報を知るために配布できるものがあれば、本の情報の周知できるのでは。
- ・素案は、本とネットが共存できている内容だと思う。
- ・非常時ではない何もない時に本を読んで楽しむ経験は、子どもの生きる根っこを育てているのだと思う。
- ・「大人が本を読まない子どもも本を読まない」という意見の通り、子どもに興味を持ってもらうことに苦労している方が多い。お母さん自身も本を読むように育てられた

が、結局あまり興味が持てないまま来たので、自分の子どもには絵本を好きになってもらいたいが、どうすれば良いのか分らない。しかし、本に囲まれている環境であれば、子どもも自然と本を読むように育っている。

- ・コロナで学校生活の活動が止まったことでの気づきがあった。何もない時に必要な力、知識や技能、学びに向かう力などは、子どもの生きる根っことなり、コロナショック中でも明暗を分けた。絵本の読み聞かせなどによる言語活動の充実は中学生までは充実しているが、高校生になると全く本を読まなくなる。あえてタブレットで新刊図書の紹介するなど、不易の部分との擦り合わせが必要では。
- ・デジタルも本も両方必要ではあるが、結局本物を見ること触れることは子どもの心を動かすのだと思う。熊取町の強みとして学校図書館司書と司書教諭が連携していることで、子どもが本を読みたいと言う気持ちを後押ししてもらっている。
- ・本だけでなく、活動がセットで動いている情景が見えてくるのが熊取町の強みだと思う。学びたいという気持ちも楽しいという感情が動くためには、本という物があるだけでなくそれを読んであげる人が必要。
- ・熊取町でのSDGsの取組みについて。2015年からSDGsやESDの考え方はすでに出ていた。今、SDGsとして新しい理解とは言われるが、今まで学校現場では福祉や環境問題について取組んできた。SDGsの名前が先行するのではなく、もっと先を見据えた教育が大切であると考えている。

●案件2 今後のスケジュールについて

【事務局からの説明】

- ・計画の素案や協議会でのご意見なども含めて、計画についてのご意見を別紙意見用紙などでご提出いただき、庁内調整などを経て、素案修正後の12月頃、第3回協議会にて案の提示を行う。
- 次回会議は、12月頃に開催予定で、後日調整。

8	審議会の情報名称	名称	熊取町子ども読書活動推進連絡協議会
		根拠法令等	熊取町子ども読書活動推進連絡協議会設置要綱
		設置期間	平成21年4月13日～
		所掌事項	子ども読書活動推進計画に関すること
		委員数	13人
9	担当課	図書館	